

(令和4年9月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	9月の総入荷量は、長雨により多くの品目で生育が停滞した前年と比較すると同月比で5%上回った。総取扱金額については、根菜類や松茸において生育不順による高値がみられるが、結球類をはじめとして全体的に軟調な推移となり、前年同月比で7%下回った。 今後は、根菜類の高値水準が続くほか、秋冬商材の需要の高まりにより堅調な推移が見込まれる。 10月は、近郷野菜では、紫ずきんが終盤を迎え、かぶや海老芋などの根菜類の入荷が増加する。果実では、梨や巨峰の入荷が減少し、極早生みかん及び刀根柿・平核無柿が最盛期を迎える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は6%下回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で24%下回り、単価は56%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で24%上回り、単価は26%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で8%上回り、単価は9%下回った。 土物類の入荷量は前年同月比で8%上回り、単価は7%下回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で3%下回り、単価は5%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で29%下回り、単価は5%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で10%上回り、単価は8%下回った。 梨類の入荷量は前年同月比で46%上回り、単価は15%下回った。 柿類の入荷量は前年同月比で53%下回り、単価は4%上回った。 ぶどう類の入荷量は前年同月比で5%上回ったが、単価は前年同

	月並みであった。 メロン類の入荷量は前年同月比で１８％下回り、単価は１２％上回った。
--	--

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	北海道を中心に岩手、兵庫、青森、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２５％下回り、単価は４３％上回った。
西洋にんじん	北海道を中心に中国からも入荷した。入荷量は前年同月比で２３％下回り、単価は１０９％上回った。
【葉菜類】 はくさい	長野から入荷した。入荷量は前年同月比で２３％上回り、単価は３７％下回った。
キャベツ	群馬、長野を中心に茨城、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３４％上回り、単価は３７％下回った。
ほうれんそう	岐阜を中心に茨城、静岡、北海道、京都などからも入荷した。入荷量及び単価は前年同月並みであった。
レタス	長野を中心に茨城、山梨、福井、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２７％上回り、単価は４１％下回った。
【果菜類】 きゅうり	京都、福島、北海道、長野、佐賀などから入荷した。入荷量は前年同月比で１７％上回り、単価は１６％下回った。
なす	京都を中心に徳島、高知、香川、群馬などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２５％上回り、単価は２２％下回った。

とまと	岐阜、北海道を中心に茨城、熊本、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１４％上回り、単価は６％下回った。
ピーマン	茨城、大分を中心に兵庫、長野、青森などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％上回り、単価は４％下回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道を中心に青森からも入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回ったが、月平均気温が高く需要が低かったため単価は２１％下回った。
たまねぎ	北海道を中心に兵庫、中国、京都からも入荷した。入荷量は前年同月比で２１％上回ったが、需要が高かったため単価は１０％上回った。
【その他野菜】 松茸	中国を中心に岩手、アメリカ、メキシコ、長野などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４２％下回り、単価は７２％上回った。
栗	愛媛を中心に茨城、京都、熊本、韓国などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は３０％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
極早生みかん	宮崎、熊本を中心に和歌山、福岡からも入荷した。入荷量は前年同月比で３１％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
津軽 (サン津軽含む)	青森を中心に長野、岩手、秋田からも入荷した。入荷量は前年同月比で１８％上回り、単価は５％下回った。
豊水なし	長野、富山、徳島を中心に京都、石川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１９％上回り、単価は１４％下回った。
二十世紀なし	鳥取、京都、長野から入荷した。入荷量は前年同月比で４５％上回り、単価は１２％下回った。
刀根柿・平核無柿	和歌山を中心に奈良、愛媛からも入荷した。入荷量は前年同月比で５２％下回り、単価は４％上回った。
巨峰	山梨、長野を中心に福岡からも入荷した。入荷量は前年同月比で３％下回ったが、単価は下位等級が多かったため３％下回った。
アールスメロン	石川、静岡、オーストラリア、茨城を中心に鳥取などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は８％上回った。